



おののゆきのぶ
小野 幸 宣
(創政会)

●市立病院・診療所改革プランは ●子どもの教育について

質問

合併以来、赤字経営であつた水沢病院収支改善が見られるが、前沢、衣川診療所は税収からの繰入れは年間約3億円

で改善を求めている。管内の医師の人員費は診療所の医師給与と共済費退職金負担で、一人年間3217万円、水沢病院医師の平均人員費(共済費等含む)は2393万円で差額が824万円である。大きな疑問でありな

ぜか。5年以内、10年以内で定年を迎える医師はそれぞれ何人いるか。

市長

医師の給与の差額は議員指摘のとおりである。基本給は統一しているが、特種勤務手当で差があり今後調整を図っていく必要がある。

次に定年を迎える医師は5年以内3人、10年以内は7人である。

質問

最近全国各地の教育現状が紹介されているが、秋田県の東成瀬村小学校の取組みが先日NHKで紹介された。卓球型からバレーボール型への転換、自



新築が期待される水沢病院

分との関わり、授業での自己の変容の自覚、その中で特にわ

かった、出来たと実感できる『ふりかえり』の場として一時限の終わりの10分を紹介していた。また、佐賀県の武雄市ではタブレット端末を生徒に配り、ICT活用や家庭で基礎的知識を学び教室でその知識を生かしていた。当市の方向性は。

市長

東成瀬村では村独自の授業を進め成果を上げているが、当市の学びの共同体と考える同じにするものである。今後のICT活用も大切である。



こんのひろふみ
今野 裕 文
(日本共産党)

●第6期介護保険計画策定について

質問

① 今度の法改正で、介護度が「要支援1」および「要支援2」の方の訪問介護、通所介

護が、介護保険からはずされるが、市としての対応はどうするのか。②在宅で特別養護老人ホームに入所できることを待っている、いわゆる早期に入所が必要なのは、市当局の予想に反してさらに増えている。3月定例会の市長の答弁では、「サー

ビス付き高齢者住宅がつぎつぎと建設されるから解消される」とのことであつたが、そうはなっていない。特別養護老人ホームの整備をすすめるべきだと考えるが、どのようにするのか伺う。③「市立病院・診療所改革プラン」で、もてはやされている訪問診療・介護について、どのような展開をしようとしているのか伺う。



平成24年4月開設の特別養護老人ホーム やなぎの里(胆沢区)

市長

① 総合事業のなかで従来通り対応できるものと考えている。②6期計画では、国から75

歳以上の高齢者がピークになる2025年を見据えた計画にするよう指導がある。手法については、まだ定まっていない状態である。③県の策定したマニュアルに沿って認知症の方への訪問診療から始めていきたいと考えている。